

# みずなら

発行責任者  
校長 高橋秀明

11

## 人のために役立てる人

校長 高橋秀明

「何故、人は勉強するのか」いまさらながらの愚問かもしれませんが、私は、「人のために役立つ人になるため」だと思っています。困っている人を助けていくのは、当たり前のことですが、課題や問題を解決するのに、いろいろな知識や方法をわかっていた方が、絶対に良いのです。また、人のためにという思いは、私達の住む社会を、「優しい気持ちで一杯に包み込んでくれる。」とも、私は思っています。

毎年、秋になると世界のために顕著な功績を残した人に対して、ノーベル賞が贈られます。昨年もニュートリノの研究による物理学賞で梶田隆章氏、アフリカの風土病オンコセルカ症の特効薬イベルメクチンの開発に大きくかかわった大村智氏が生理医学賞と、2人の日本人がノーベル賞を受賞しました。

難しい研究への挑戦や、地道な努力があつて手にするものだと思いますが、大変な取組にもへこたれることなく、成し遂げられるのは、社会貢献したいという強い思いが勝つてのことだと思います。ノーベル賞とは言わないまでも、人のためにと努力して身につけた知識や技能をもとに、みんなが仕事に就いて頑張ることができたら、確実に希望に満ち溢れた世の中になっていくと思っています。自分たちが住む世界は、絶対に優しいものであつて欲しいのですが、「自分がやらなくても誰かがやってくれる。」と、甘えがちになることもしばしば見られます。人任せにすると良い方向へは、なかなか進んでいかないものです。やっかいなことに、真面目に生きようとすればするほど人は、たくさんの悩みや問題にぶち当たります。気持ちが弱ければ逃げ出したくなるのも当然かもしれません。

一方で、個人が人生で出会う問題は、「ほとんどのものは、乗り越えられないものは与えられない。」と、ある宗教の中で教えています。それが必要な力を身に付けるための試練であると考えたならば、避けてはいけないものにもなってきます。日本語の中にも、苦難、困難、受難など、試練を示す言葉に「難」という字が用いられますが、何故か「難」の有ることを漢字で有難い（ありがたい）と表します。このことは、与えられた「難」を乗り越えることによって、自分を強く成長させることができると考えたからです。

失敗しないで格好良く、知識や技能を身に付けられると良いのですが、意外にそんな場合は、想定外の問題に対して弱さを露呈してしまうことが多いものです。どんなハプニングが起きた時でも機転を生かし、臨機応変に対応できるたくましい応用力を身に付けて欲しいのですが、そのためにはたくさんの経験や失敗から学ぶことも大切になってくるのです。

子どもたちには失敗を恐れない勇氣あるチャレンジャーになって欲しいと願っています。今年度も残り1ヶ月と少なくなってきましたが、学びの大切さを理解してもらい、有終の美を飾れるようしっかり指導に当たっていきたいと思います。



## ◆▽● 全国体力運動能力調査の結果 ●△◆

1月末に全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果が届きましたので、本校の結果とその分析、今後の取組についてお知らせします。なお、本調査の対象学年は2年生で、実施は1学期です。また、下表の数字はそれぞれの平均値となります。本校で全国平均を超えた部分は斜字体で表しており、8種目中男子は7種目、女子は4種目で全国平均を越えました。体力合計点もそれぞれ全国の平均を超えています。

種目		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(点)	シャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ハンドボール(m)	体力合計点
男子	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
	全道	29.59	26.55	41.62	49.66	79.77	8.21	193.75	20.44	40.10
	本校	<i>30.17</i>	<i>34.33</i>	<i>44.50</i>	<i>63.00</i>	<i>111.40</i>	<i>7.75</i>	<i>214.50</i>	20.33	<i>52.60</i>
女子	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
	全道	23.40	21.14	43.87	43.41	49.46	9.09	161.77	12.07	44.83
	本校	23.50	23.17	39.33	<i>48.33</i>	57.33	<i>8.60</i>	<i>173.67</i>	<i>18.60</i>	<i>53.50</i>

運動習慣調査等の結果もあわせて考えられること（全国平均との比較）を挙げると、

- ①全員が部活動に加入しており、平日の運動習慣がほぼ全員に身につけている。
- ②体力に自信があり、運動に対する意識が高い。（男子）
- ③家の人からの積極的な運動の勧めがある。
- ④スケート少年団所属の生徒が多く、体力面や技術面で鍛えられている。（男子）
- ⑤家の人と運動したり、スポーツ観戦やスポーツの話をしたりする機会が多い。（男子）
- ⑥平日のゲームやスマホをする時間が少ない。（男子）
- ⑦肥満傾向の生徒が少ない。

等が挙げられます。いずれにしても、学校・家庭・地域（少年団等）がそれぞれの場面で子どもに働きかけることで効果が上がっていると推察されます。

## 《今後の取組について》

- ①正しい生活習慣を身に付け、健康な心身を育てるために、養護教諭を中心として保護者と連携しながら、生活習慣チェックを継続していき、必要な指導と助言を行っていく。
- ②養護教諭及び担任で、食育指導を充実し、肥満の防止と解消に努める。
- ③新年度の新生生についても全員の部活動加入を促し、平日の運動量を確保する。
- ④生徒会企画の「全校遊び」等を積極的に促す。
- ⑤地域のスポーツに関する行事への積極的な参加をはたらきかける。

また、「学んだことを授業以外でも行ってみたい」という生徒が極端に少なく、これは体育に限った傾向ではありません。授業の中で、今の学びがどのように生きるのかわかる授業を工夫して参ります。



● スケートで冬場の体力づくりを！



● 職員でメディアに関する研修を行いました。今後各学級で指導を行います。

## ◆▽● 「別海町生き抜く力向上策定プロジェクト研修」を開催 ●△◆

3日(水)に秋田県横手市教育委員会より教育指導部長のI・J様と指導主事のO・A様をお招きして本校を会場に研修会を開催しました。中1数学の模擬授業では小6と中2のつなぎとなる「確率」の授業をO指導主事にしていただきました(写真)。本校の課題である表現力の育成や、課題提示の場面等、参考になるところがたくさんあり、職員一同大変勉強になりました。また、I教育指導部長には「探求型の授業・読書・NIE\*1で表現力を育てる」と題して講話をしていただきました。参加者からの質問も多く、参考になると同時に、秋田(横手市)の教育の底力を感じさせられました。本校でも早速新聞の活用について閲覧台を作成しました。環境を整え、生徒に新聞記事への関心を持たせるところから始めて参ります。

\*1) NIE=Newspaper in Educationの略。  
学校等で新聞を教材として活用すること。



## ◆▽● 全国大会で1500m入賞 ●△◆



1月30日から長野市で開催された全国中体連スピードスケート大会において、本校から3名の選手が出場し、N・T君(2年)が男子1500mで5位に入賞しました。MJ君とMZ君も自己ベストを出すなど、初の舞台上で健闘しました。

5日の校内表彰では、N君から「自分よりまだまだ上の選手がいることがわかった。今後も努力して来年は2冠を目指したい。」と、力強く宣言がありました。

12日にはN君が町役場で水沼町長に大会の報告をしました(写真左から2番目)。町長からは「良き手本となり、周りに刺激を与えられる存在に」とのお言葉を頂戴しました。

スケート関係者をはじめ、今大会に向けてご支援下さった多くの方々に改めてお礼申し上げます。

## 3月の行事予定

日	曜	内 容	バス
1	火	道立高卒業式	15:50
2	水	職員会議、学年末テスト	15:50
3	木	学年末テスト、白鳥号、入試	15:50
4	金	入試面接、球技大会、委員会	15:50
5	土	P T A 研修	
6	日		
7	月		15:50
8	火	助産師来校(3年総合)	15:50
9	水	研修日	15:50
10	木	卒業記念集会	15:50
11	金	式準備・総練習	15:50
12	土	卒業式	12:15
13	日		
14	月	振替休日	
15	火	A L T	15:50
16	水	職員会議、公立高合格発表	15:50
17	木	職員会議、上春小卒業式	15:50
18	金	学力テスト、委員会	15:50
19	土		
20	日	スポーツセンター祭	
21	月	春分の日	
22	火		15:50
23	水	職員会議	15:50
24	木	修了式、離任式	11:45
25	金	学年末休業	
26	土	P T A 合同送別会	
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木	新年度入学式 4月6日	

\*日程やバス時刻は変更することがあります。  
ご了承下さい。